

J F Eグループインベスターズ ミーティング
（2017年度決算および2018年度業績見通し）
2018年4月26日開催 質疑要旨

Q. 18年度業績見通しにおける金属・資材等の価格の見方を教えてほしい。

A. 昨年以降、市況は上昇基調にあり、直近のレベルが継続するという見方をしている。

Q. 18年度業績見通しにおけるスプレッドの見方を教えてほしい。

A. 輸出スプレッドについては、汎用品については直近のスプレッドに一定の調整リスクを織り込んでいる。それ以外の分野については、国内・輸出ともに現在進めている値上げを継続する前提としている。

Q. 18年度業績見通しにおける金属・資材等の値上がりに関しては、コストアップ影響のみを想定しており、販売価格への転嫁については織り込んでいないのか。

A. 市況が上昇していることを踏まえコストアップと表現しているが、今後販売価格への反映は進めていかなければならないと考えている。

Q. 輸出スプレッドは250ドル/tの水準を想定しているのか。

A. 直近のスポットベースのスプレッド水準よりも、数十ドルレベルを下げた水準を想定している。

Q. 18年度業績見通しにおける、棚卸資産評価差等での50億円の減益要因の内訳を教えてください。

A. 対17年度較差分析の50億円の減益要因に関する内訳は、棚卸資産評価差で20億円のマイナス、原料キャリアオーバー影響で70億円のマイナス、為替換算差で40億円のプラスを織り込んでいる。

以上

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。